

リボーン <エコツーリズム・ネットワーク> エコツアー・レポート 2010 秋～冬



【感謝！創業 10 年 & 環境省エコツーリズム大賞優秀賞 受賞】

有限会社リボーンをご支援いただいた皆様へ

めっきり秋めいた今日、外苑の並木道では銀杏の香りがしてきました。ほんとに早いものです。お世話になった皆様へお送りするお便りを書いたのが半年前、その後の忙しさにかまけて出さずじまいになっていました。先週、環境省から第6回エコツーリズム大賞優秀賞（概要講評は後述）をいただき、この際、このお知らせとお礼も兼ねて半年前の想いも合わせてお届けさせていただくことにしました。

.....半年前.....

拝啓 新宿御苑が一年中で最も賑やかで混雑する季節になりました。満開の桜以上に、毎日、お花見行列ができています。

昨日、日本の桜に未練を残しながら、樹木医グループの皆様をご案内して満開の桜で賑うアメリカの首都ワシントンにきました。100年以上も前に、東京から贈られた桜の子孫たちはアメリカの大地にしっかりと根ざして満開の花をつけていました。春霞の旅の空の下、弊社を創業する準備に奔走していた2000年春を思い出します。

20年以上勤務した大手旅行会社に自分なりの判断で見切りをつけ、家族の理解を得て、船出をしましたが、旅慣れたはずの者にしては、この10年間は最も緊張感と躍動感のある「旅」となりました。

お蔭様で今年の5月1日で創業10周年を迎えることができそうです。このお便りをお送りする皆様すべての方々に、心からお礼を申し上げます。そして、また10年、家族とパートナースタッフやご支援いただく皆様のご期待にお応えすべく、新しい緊張感とワクワク感と「持続可能な社会のためのライフスタイルの提案」というちょっとばかりの使命感を持って、社業に取り組んでいくことをお約束します。どうぞ、これまで以上に、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

追伸：ハーバード、MIT などアメリカいや世界の頭脳が集まるボストンに立ち寄った後、ニューヨークから帰国する当日となりました。自由主義社会に激震が走った2001年9月11日は創業翌年でした。世界経済の象徴として君臨していた世界貿易センタービルのなくなったビッグアップルは寂しくもありましたが、タイムズスクエアに溢れる観光客を見て、地下鉄を気軽に乗り継いでいると、人間の生命力を感じてきました。「この世に変わらないものはない」。しかし、願わくば自然を受け入れながら、自分の意思で愛すべき人々と生きて行きたいと強く思いました。皆様のこれからの人生に幸多かれと祈ります。（ニューヨーク 7番街 アフィニア マンハッタンホテル 21階 2117号室にて）
敬具

2010年4月9日

有限会社リボーン<エコツーリズム・ネットワーク>
代表取締役プロデューサー 壺岐健一郎

.....半年後.....

まさに職業病のような時差ボケを連想されるかもしれませんが、今年も残すところ3ヶ月、まずは年内に一度、皆様と一緒できる機会をいただきたく、特にお奨めしたい企画も紹介させていただきます。

2010年9月30日

(秋雨の新宿御苑前12階リボーン事務所にて)



ニューヨーク グランドゼロ



グリーンツアー オーガニックファーム



壺岐健一郎&若子（創業者）